

NO.210

令和5年9月1日発行

3月

6月

9月

12月

定例会は年4回

市議会だより

# く る め

G I K A I T I M E S



特集

新しい久留米市議会へ  
新体制が目指すもの

数字&キーワードで見る久留米市議会



# 新しい久留米市議会へ 新体制が目指すもの

5月に就任した議長・副議長と円滑な議会運営を担う議会運営委員長・副委員長の4人に、新体制が目指す新しい市議会について語ってもらいました。

**改選後は若い議員も増え、これまで市議会にいなかった政党の議員も誕生しました。**

**吉富** 若い方の新しい感覚に期待しています。活性化につなげたいですね。

**中村** どの議員も信念を持っておられますね。年齢や職業など、これまで以上に多彩になりました。まずは議員同士が寛容に多様性を認めていくことが必要だと感じています。多くの方の支持を得て、市民の代表としての議員という立場にいるんですからね。

**藤林** 若年層の投票率が低いので、次はもっと若い世代にも立候補してもらい、20代の議員が誕生するといいですね。それに、女性議員が改選前と同じ6人だったことは少し残念でした。

**吉富** 新体制といえば、副議長と議会運営委員長が女性という組み合わせは、久留米市議会では初めて。男女共同参画社会を推進する上でも、とても良かったと思います。

**田中** 女性議員が少ないので、私たちを見て「自分も女性議員に」と思ってもらえたら、もっと女性議員が増えるよう、しっかり使命を果たしていきます。



**藤林** 子育て世代の男性議員の質問を聞いていると、以前よりリアルで、時代が変わったと感じます。中村副委員長は子育て中ですよ。

**中村** そうですね。男性は仕事、女性は家庭という観念は全くありません。私たちの世代は共働き世帯が多いので、夫婦で協力して、子どもの成長に関わっていくんだという気持ちは強くあります。

**これまでの経験を踏まえ、今後どのような議会・委員会の運営を目指しますか？**

**吉富** 前議長も取り組んできた「チーム議会」をスローガンに、議会改革路線を継承したいと思っています。

**田中** 「チーム議会」には、会派や期数を越えた、議員同士の対話が大切だと思います。私たち4人も、それぞれ期数や経験が違いますが、それを多様性や層の厚みといった良さに変えていきたいです。

**藤林** 私も「チーム議会」に引き続き取り組みたいと思います。常任委員会の所管事務調査で、委員が執行部に自分の要望を伝えて調査を終わるのではなく、現地調査等を行い、その結果を基に委員間討議で議論を深め、委員会としての提言をまとめるのが理想です。それを継続していくことで、「議会と執行部」という二代表制の本来の機能がさらに発揮できるのではないのでしょうか。

**中村** 私も二代表制が成熟すれば、より良い緊張感を生むと考えます。緊張感は、執行部と対立するためでなく、議会の活性化につなげるために必要ですよ。

**吉富** そして、議会改革を行う上で「市民のためにどうあるべきか」という視点は、基本中の基本で、これは絶対外してはいけません。そこをいつも肝に銘じながらやっていきたいと思っています。

**藤林** 議員それぞれ意見や主張が違うのは当然ですから、議長がおっしゃるとおり、最終的には「市民のために」が起点になりますね。

**田中** 「市民の皆さんの方を向いた政治」は、当たりまえの事なんですけど、とても大事ですね。

**最後に、皆さんが思い描く「久留米市の未来」を教えてください。**

**吉富** 子どもの笑顔があふれるまちづくり、高齢者が住みやすいまちづくり、そして水害対策。この3つは、ぜひ取り組んでいきたい。政策や事業は、行政と議会の両輪がかみ合っ



てこそ前に進んでいくものなので、市民の声を届けながらも、受け入れるものは受け入れ、お互いに協力する姿勢を大切にしたいと思っています。



**田中** 加えて、官民での女性活躍ですね。あとは、子育てしやすいまちにすることで、少子化問題も解決していきたいですね。

**藤林** 人口減少は一番のテーマかもしれませんね。いずれは久留米市の人口も減るでしょうが、その速度が鈍化すること、減っても維持できる地域社会の在り方を市民と模索していくことが大切だと思います。解決の糸口は、多様性(ダイバーシティ)や女性の活躍など、多文化共生の社会を見据えて準備できるかどうか。拾いきれていない市民の声を、議会がくみ取っていく必要があると思います。

**中村** 私は子育て世代ですが、コロナ禍で子どもを取り巻く環境は、決して豊かでないと改めて実感しました。地域の絆やつながりは、かなり希薄化しています。まずは子どもたちを育む環境づくりをやっていくこと。そして、市民の能力をしっかりと発揮できるように、持続可能なまちづくりに取り組みたいです。



**吉富 巧 (73) 議長**  
当選4回/きずな議員団  
平成23年5月~久留米市議会議員。趣味は野球・サッカー観戦。



**田中 貴子 (60) 副議長**  
当選3回/公明党議員団  
平成27年5月~久留米市議会議員。趣味はスポーツ観戦。



**藤林 詠子 (65) 議会運営委員長**  
当選6回/みらい久留米議員団  
平成15年5月~久留米市議会議員。趣味は映画鑑賞。



**中村 博俊 (41) 議会運営副委員長**  
当選2回/久留米たすき議員団  
令和元年5月~久留米市議会議員。趣味はスポーツ観戦。



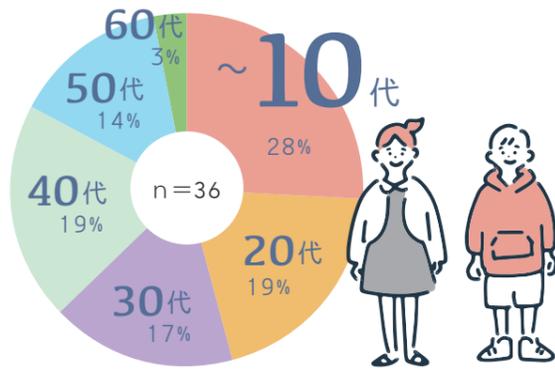
特集  
新体制

# 数字&キーワードで見る 久留米市議会



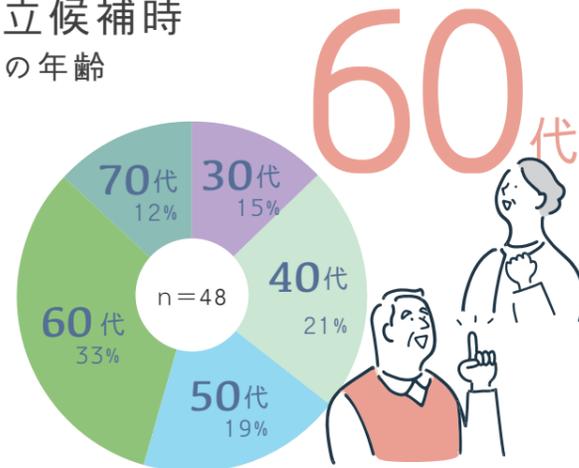
新たに議員に当選した36人に、職歴や議会・議員活動からプライベートなことまで、さまざまな角度からアンケートを行いました。また、議員の構成や市議会議員選挙の年代別投票率のデータもご紹介します。  
※アンケート結果は、令和5年7月現在です。

## 議員に初めて関心を持ったのはいつですか？



10歳代で政治に興味を持ち始めた人が、なんと4分の1以上と最多。同時に、人生経験を積むにつれ、各年代でまんべんなく関心を持ち始めているのも面白いところです。

## 立候補時の年齢



今回の久留米市議会議員選挙における立候補時の年齢分布です。最も若かったのは30歳、最年長は73歳でした。候補者がいなかった20歳代は、投票率も低迷。社会人として初期の段階にあたるこの年代での政治への関わりは、難しいのでしょうか。

## 議員に初当選する以前の経歴や職歴は？

- 1位 会社・団体従業員
- 2位 会社・団体役員
- 2位 自営業・農業



議員に当選する前の職業は、実にさまざま。それぞれの経験を活かし、多角的な視点で、多様な思いを議会に届けます。

## 4月の市議会議員の投票率を年代別で見ると・・・



4月に行われた久留米市議会議員選挙の投票率は40.75%と過去最低。年代別では、20歳代の投票率が特に低くなっています。20歳代は候補者もいませんでした。今後も、少子化が進むと言われる中、若い世代にも自分の意思を表してほしいものです。

## 久留米のグルメで好きなものは何ですか？



- 1位 筑後うどん
- 2位 久留米ラーメン
- 2位 久留米焼きとり

1位はラーメンかと思いきや「うどん」でした。その他、うなぎ、久留米餃子などおなじみのメニューが並ぶ中、ランク外にスイーツも。久留米の新たな定番の座を獲得できるか!?

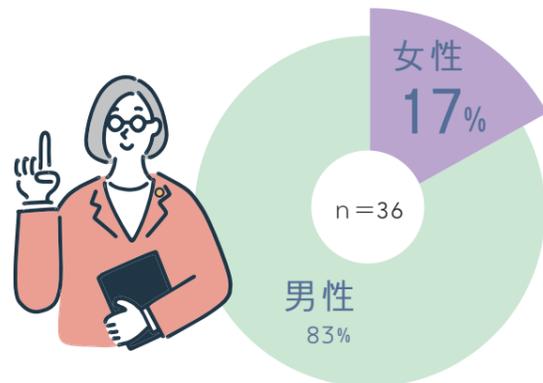
## 現在、何期目ですか？



7人の新人議員が当選し、1期目が2番目に多い、若い議会となりました。個性もさまざま、これまでとは違う空気を感じます。新しい風で市議会を盛り上げてほしいですね。

## 当選者に占める女性の割合

前回、前々回と同じく女性議員は6人で、議員全体の約2割。実は、女性の立候補者は全員当選しています。市議会としても、より多様な女性の声を議会に届けてもらえるよう、働きかけていきます。



## 議会活動・議員活動の中で重視しているものは？

- 1位 本会議・委員会での質問
- 2位 政策立案
- 3位 地域行事への参加
- その他、現場視察や行政の監視など

「本会議・委員会での質問」を大事にしています。本会議や委員会は、議員にとって最も大切な場でもあります。市民の意見は、本会議での一般質問や委員会での質疑などを通じて、議会から行政へ伝えられています。



物価高騰への支援策を含む  
補正予算などを可決

## 主な審議事項

○令和5年度一般会計補正予算

- 物価高騰の影響を受けている、住民税非課税や18歳以下の子どもを養育する世帯への給付金(第3号)
- 物価高騰の負担を減らすため、子ども食堂の運営や学校給食支援として補助金を増額(第4号)
- 電気やガス、飼料などの価格高騰への対応として、社会福祉施設や畜産農家、LPガスを使用している中小事業者等に、価格上昇分の一部を支援(第5号)



議案の議決結果はP10へ ➡

## 6月定例会の経過 会期 6月7日から27日までの21日間

## 第1日

▼ 6月7日

- 会期の決定(21日間)
- 市長から一般会計補正予算(第4号)など15議案の提案説明
- 急を要する案件として、一般会計補正予算(第3号)を総務・教育民生の2常任委員会で審査の上、可決

## 第2日～第5日

▼ 6月15日～20日

- 一般質問(P8～9へ)
- 議案の質疑、各常任委員会へ議案を付託

## 常任委員会

▼ 6月21日・22日

- 総務・教育民生・経済・建設の4常任委員会で議案を審査(P7へ)

## 第6日

▼ 6月27日

- 一般会計補正予算(第5号)が追加提出され、市長から提案説明
- 追加議案を総務・教育民生・経済の3常任委員会で審査
- 追加議案1件を含む各常任委員会の議案審査結果報告があり、全ての議案を可決・承認
- 人事議案3件が追加提出され、市長から提案説明の後、全ての議案に同意

## 同意した人事案件

市長が任命、選任または推薦する人事には、議会の同意を得なければならないものがあります。

- 教育委員会委員 富永 孝太郎
- 固定資産評価審査委員会委員 濱崎 宣子
- 農業委員会委員  
今村 東、内田 すなを、大石 敏裕、甲斐 サエ子、柿本 正信、川津 富夫、古賀 喜治、後藤 マス子、清水 邦宏、白水 貴、末次 龍夫、高田 光秀、田川 政文、田中文、轟 香代子、中園 正彦、中村 裕、中山 健治、林田 高夫、日比生 和雄、福島 哲憲、保坂 泰生、松隈 康吉、本山 龍一

## 全国市議会議長会表彰

6月14日に開催された全国市議会議長会第99回定期総会で、3人の議員、1人の前議員が表彰を受けました。

- 30年表彰 栗原 伸夫(前議員)
- 20年表彰 原口 和人、藤林 詠子、石井 俊一

※ 敬称は全て省略しています。

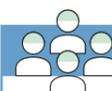
災害復旧支援の充実を求める  
意見書を可決

8月3日の臨時会では、議員提出議案の「令和5年梅雨前線豪雨等による災害復旧支援の充実を求める意見書」を全員賛成で可決。また、「森崎巨樹議員の辞職勧告に関する決議」が追加提出され、賛成多数で可決しました。

pick UP!

## 議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。主な議案審査の内容をお知らせします。



## 総務常任委員会

可決

## 消防ポンプ自動車の購入(第51号議案)

消防団が使用する消防ポンプ自動車の老朽化に伴い、新たに4台購入するものです。



購入予定と同型の消防ポンプ自動車

## 審査に関連して、こんな質問がありました

Q 消防ポンプ自動車は、消防分団ごとに使い方や希望の装備も異なる。各分団の実態に応じて購入すべきではないか。

A 各分団の意向を踏まえ、可能な限り団員が利用しやすい機能を備えることができるように努めている。引き続き、消防団と協議を行いながら、購入していきたい。



## 経済常任委員会

可決

下水道管の管理瑕疵による家屋破損事故の  
損害賠償(第53号議案)

硫化水素により下水道管が腐食。周辺の土砂が管内部に流入し、道路が陥没したことで家屋等が破損したため、損害賠償額を決定するものです。

## 審査に関連して、こんな質問がありました

Q 今回の事故を受け、老朽化した管の点検方法を、どのように見直すつもりか。

A 事故発生場所は、昨年度、法定点検<sup>※2</sup>の予定だったが、その前に事故が発生した。今回の事故を受け、腐食の可能性がある約400箇所について、前倒して点検し、異常がないことを確認した。現在、硫化水素が多く発生した原因を検証しており、その結果を踏まえ、今後の点検計画などを検討していきたい。



## 教育民生常任委員会

可決

病児保育<sup>※1</sup>施設の利用料を無償化するための  
補助(第49号議案)

病児保育施設を利用する保護者等の経済的な負担を軽減するため、施設を運営する事業者に対して利用料相当額を補助するものです。



病児保育施設「マリアン・キッズ・ハウス」

## 審査に関連して、こんな質問がありました

Q コロナの5類移行後、病児保育施設の利用者がまた増えると思うが、それに対する市の支援は

A 現在、病児保育の利用者が市内4つの施設に直接申込みのため、キャンセル待ちも、それぞれに手続きが必要で、重複することがある。県のネット予約システムを導入し、利用しやすくなるよう支援していきたい。



## 建設常任委員会

可決

## 市道路線の廃止・認定(第54・55号議案)

住宅を建てるために土地を整備したり、市の道路を新しく造ったりしたことなどを理由に、5つの市道路線を廃止し、21の市道路線を認定するものです。

※1 病児保育・・・病氣中や病氣が治りつつある子どもを、仕事等の理由により保護者が家庭で見ることができない場合に、専用の保育施設で一時的に預かる制度。

※2 法定点検・・・平成27年に下水道法が改正され、腐食のおそれが大きい排水施設については、5年に1回以上の頻度で点検することとされている。

# ここが知りたい 一般質問 個人質問

【個人質問とは?】議員個人が議案以外の市政について行う質問のことをいいます。6月定例会で行った質問の一部を紹介します。

## 緑水会 教育・子ども

**Q** 自転車通学をしている中学生のヘルメット購入代金の助成はどうなっているか  
**A** 各中学校のPTAが自転車通学の安全確保と保護者の経済的負担の軽減のためヘルメットの購入助成を行っている。市教育委員会から各PTAに対して生徒一人当たり2,000円を上限として補助金を交付している。

その他の質問…小・中学校運動場の夜間照明の設置状況など

## きずな 教育・子ども

**Q** 児童生徒の学力、体力、不登校について、それぞれの課題への取り組みは  
**A** 学力は「くるめ授業スタンダード※1」を基にした授業改善などを図り、体力は「運動意欲の向上」などに取り組む。不登校に対しては、対応方針の策定や生徒へのアプローチ研究等、全生徒に支援が届く取り組みを進める。

その他の質問…津福地区市営住宅等再整備事業など

## 公明党 健康・福祉

**Q** くるめ健康のびのびポイント事業※2を介護予防事業へ活用する考えは  
**A** 介護予防は、自らの継続的な取り組みが重要。同事業のアプリは、高齢者の主体的な健康づくりに効果があると考え。介護サービス事業者などにも周知し、多くの方に利用してもらえるように努めたい。

その他の質問…市での带状疱疹ワクチン接種の動向など

## 立志会 健康・福祉

**Q** 新型コロナワクチンの副反応疑いの相談や健康被害救済制度※3への市の対応は  
**A** 5月末時点で、健康被害に関する相談は99件。内容は皮膚症状や腕のしびれなどが主。症状に応じた診療科の受診案内や、予防接種後健康被害救済制度の説明など、丁寧な対応に努めている。

その他の質問…学校給食における昆虫食提供の検討など

## 公明党 行財政

**Q** 保健所施設の機能強化に伴い、子ども子育て関連施設を併設する考えは  
**A** 子ども子育てに関する行政ニーズは高く、関連機能の充実・強化の必要性は認識している。一方で、市の厳しい財政状況に鑑み、慎重な検討が必要。報告書※4や議会の提言を踏まえ、今後方針を提案する。

その他の質問…善導寺校区の浸水対策など

## 立志会 行財政

**Q** コロナで事業者の大きな負担となっている事業所税※5の市独自の新たな減免制度は検討できないか  
**A** 現在、中小企業者を対象に、原材料等の保管倉庫面積に係る資産割を1/2とする、市独自の事業所税の減免を行っている。令和3年度の減免件数は183件、額は約7千万円。今のところ、新たな減免は考えていない。

その他の質問…消防団の再編など

## 緑水会 行財政

**Q** 公平公正な選挙実施のため、特に公職選挙法違反の啓発に努めてほしいが考えは  
**A** 市の広報紙への寄付禁止記事の掲載や、違反防止ポスターを掲示するなど啓発を行っている。今後も議員、候補者、後援団体はもちろん有権者の理解も深まるよう効果的な啓発に取り組む。

その他の質問…コミュニティ組織における投票啓発など

## きずな 行財政

**Q** マイナポイントの申込期限が迫るなか、マイナンバーカード発行業務の課題と対応は  
**A** 職員の増員や業務委託、本庁での土日交付を実施。今後、さらに受け取りが集中することが想定される。窓口の混雑緩和が課題。交付予約が均等になるよう受け取り案内の再送付などにより、周知を徹底する。

その他の質問…水害時の避難所開設など

## 日本維新の会 防災・安全

**Q** 防災対策としての自助・共助に対する取り組み、課題、展望は  
**A** 出前講座による家庭での備蓄推奨などの自助の意識向上、共助は防災士等の養成や地域との避難所協働運営などに取り組んでいる。自主防災活動に校区で差があるが、活動的な校区の取組事例を広めるなど、活性化を図る。

その他の質問…流域治水の推進、総合内水対策計画など

## 久留米たすき 防災・安全

**Q** 空き家対策の一つである「空き家情報バンク」の実績と今後の流通促進をどう考えているか  
**A** 売却などを希望する空き家を、市のホームページや民間のサイトで紹介している。これまでに51件中33件の契約が成立。今年度実施する空家等実態調査の結果を活用し、さらなる流通促進に向けた検討を進めたい。

その他の質問…河川における豪雨対策など

## 久留米たすき 防災・安全

**Q** 歩行者の安全性等向上のため、道路補修箇所の把握に防災チャットボット※6を活用できないか  
**A** 昨年度に職員による実証実験を行った結果、場所の特定に時間がかかるなど、課題も見えてきている。新たなシステムの活用について、体制の強化や対応手法などを含めて引き続き検討していく。

その他の質問…市立小中学校でのマスクの取り扱いなど

## 久留米たすき 防災・安全

**Q** 森林整備のための財源である森林環境譲与税をどのように活用しているのか  
**A** 資源量調査や所有者の意向調査、木材利用の促進などに活用。今年度から倒木の恐れのある樹木を伐採し、豪雨などによる土砂災害の発生を抑制する森林防災事業の財源としても活用を予定している。

その他の質問…観光情報の市外への発信など

## みらい久留米 まちづくり・暮らし

**Q** 違法で悪質な企業などに対し、アルバイトなどの労働者の基本権を保障するための対策は  
**A** 関係機関と連携し、労働法の基礎知識など、学生の就職活動に役立つ情報をSNSで発信している。事業所に対しては、引き続き、働き方改革や就労環境の改善に向けた周知啓発を行っていく。

その他の質問…校区コミュニティ組織の女性役員を増やす取り組みなど

## 日本共産党 まちづくり・暮らし

**Q** 青峰小と高良内小の統合案が及ぼすまちづくりへの影響と地域活性化の考えは  
**A** 地域にとって重要な存在である小学校がなくなることは、まちづくりに様々な影響がある。地域主体での検討を尊重しつつ、校区の皆様と、今後のまちづくりについて意見交換を行い、支援や取り組みを進めたい。

その他の質問…障害者雇用代行ビジネスについて

## みらい久留米 まちづくり・暮らし

**Q** スマートインターチェンジ※7設置における都市づくりのビジョンや整備効果は  
**A** 災害リスクが少ない場所への設置により、平常時、災害時を問わず安定した物流・人流が確保される。また、交通混雑の緩和、産業の活性化、企業誘致などが期待できる。総合的に都市のポテンシャルを高めることにもつながる。

その他の質問…不登校に関する新規事業のタイムスケジュールなど

※1 くるめ授業スタンダード  
 「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の3つの視点の具現化をするために、市がめざす授業像として作成。

※2 くるめ健康のびのびポイント事業  
 健康寿命延伸の取り組みを進めるための事業で、参加対象者は18歳以上の久留米市民。スマートフォン用の専用アプリを活用し、ウォーキングなどの日々の健康づくり活動や、特定健康診査、各種がん検診の受診などにポイントを付与する。一定ポイント以上の獲得で、特典の抽選に応募できる。

※3 健康被害救済制度  
 「予防接種後健康被害救済制度」のこと。予防接種法に基づく予防接種を受けた人に健康被害が生じ、厚生労働大臣が接種によるものと認定した場合、市町村から医療費などの給付が行われるもの。

※4 報告書  
 「保健所機能等検討調査業務報告書」のこと。保健所の機能強化について、いくつかのモデルプランを提案した報告書。業務委託で作成した。

※5 事業所税  
 地方税法に基づき、人口30万人以上の都市が都市環境の整備や改善のための費用に充てるため、事業を行う者に対し課される税。

※6 防災チャットボット  
 市がLINEで運営する防災アプリ。市職員、地域役員、消防団等から収集した被害情報をリアルタイムに共有ができる。

※7 スマートインターチェンジ  
 ETCを搭載した車両のみ利用可能な高速道路のインターチェンジ。従来のインターチェンジに比べて低コストで導入できる。

一般質問は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でご覧いただけます。また、過去4年分の録画映像を見ることができ、議会の日程や議員の名前、キーワードで検索できます。



議会中継(録画)

## 議案の議決結果

### ✓ 全員賛成で可決・承認・同意した議案

令和5年 6月7日議決分

第48号 令和5年度久留米市一般会計補正予算(第3号)

令和5年 6月27日議決分

- 第46号 久留米市市税条例の一部を改正する条例制定の専決処分について
- 第47号 令和5年度久留米市一般会計補正予算(第2号)の専決処分について
- 第49号 令和5年度久留米市一般会計補正予算(第4号)
- 第50号 令和5年度久留米市下水道事業会計補正予算(第1号)
- 第51号 財産(消防ポンプ自動車)の取得について
- 第52号 財産(食器・トレイ洗浄機及び自動食器浸漬槽)の取得について
- 第53号 下水道管の管理瑕疵に起因する家屋破損事故による損害賠償について
- 第54号 市道路線の廃止について
- 第55号 市道路線の認定について
- 第56号 財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部を改正する条例
- 第57号 久留米市市税条例の一部を改正する条例
- 第58号 久留米市公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例
- 第59号 久留米市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例
- 第60号 久留米市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例
- 第61号 令和5年度久留米市一般会計補正予算(第5号)
- 第62号 久留米市教育委員会委員の任命について
- 第63号 久留米市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 第64号 久留米市農業委員会委員の任命について



6月定例会での採決

令和5年8月3日議決分

発議第4号 令和5年梅雨前線豪雨等による災害復旧支援の充実を求める意見書

### ✓ 賛否が分かれた議案

議案名	会派名	久留米たすき	きずな	公明党	立志会	みらい久留米	緑水会	日本共産党	日本維新の会	議決結果
令和5年8月3日議決分		(7)	(5)	(6)	(6)	(4)	(4)	(2)	(1)	
発議第5号 森崎巨樹議員の辞職勧告に関する決議		○	○	○	○	○	×	○	○	可決

会派名の( )内の数字は所属議員数です。ただし、きずな議員団は議長を除きます。議長は表決に加わりません。賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。  
 ※発議第5号について、緑水会は、1人除斥のため、表決に参加したのは3人。  
 会派名:久留米たすき(久留米たすき議員団)、きずな(きずな議員団)、公明党(公明党議員団)、立志会(立志会議員団)、みらい久留米(みらい久留米議員団)、緑水会(緑水会議員団)、日本共産党(日本共産党久留米市議員団)

#### 議員の辞職勧告に関する決議を可決

8月3日の本会議で、議員発議「森崎巨樹議員の辞職勧告に関する決議」を賛成多数で可決。久留米市議会は、飲酒運転を絶対に許さない姿勢を示しました。



森崎巨樹議員の辞職勧告に関する決議



議員個人の賛否の状況はホームページでご覧いただけます

## TOPICS

### 令和5年梅雨前線による豪雨災害 被災者への早急な対策・支援を要望

7月21日に災害対応連絡会議を開催。市の災害対策本部から7月7日からの大雨による被害状況と災害対応について報告を受け、災害ゴミの仮置場や集積場の状況、ボランティアの確保、浸水被害への対応などについて質疑を行いました。

また、岸田首相をはじめ、谷防災大臣、斉藤国土交通大臣、勝俣農林水産副大臣(いずれも当時)などが大雨被災地を視察。被災者の窮状や土砂災害、水害の状況を訴え、国と県に対し、早急な対策・支援を強く要望しました。

8月3日に臨時会を開き、災害復旧の充実を求める意見書を全員賛成で可決し、国等に提出しました。



7月27日に岸田首相(中央手前)が田主丸町竹野地区の被災地を視察



災害対応連絡会議の様子



災害復旧支援の充実を求める意見書

### 中核市議会議長会「議会報コンクール」で優秀賞を受賞

「市議会だよりくめ」が、中核市議会議長会「議会報コンクール」で優秀賞を受賞しました。同コンクールは、今年で18回目。61市が参加する中、久留米市議会は初めての受賞でした。

審査委員からは、「読みやすく分かりやすい」、「議会だよりの堅苦しさを感ぜさせない編集で完成度が高い」と評価されました。



優秀賞を受賞した「市議会だよりくめ」207号



市議会だよりくめ207号

## 令和4年度 政務活動費の収支状況

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として会派に交付されます。

久留米市議会では議員数1人あたり月額5万円を交付しています。

領収書などの関連書類はホームページで公開しています。また、市役所18階の議会事務局で書類の閲覧もできます。



政務活動費収支報告書等

### 令和4年度 政務活動費の収支状況

(単位:円)

会派名	明政会	久留米たすき	公明党	緑水会	みらい久留米	日本共産党	合計
議員数	12人	8人	6人	5人	3人	2人	36人
収入 政務活動費	7,200,000	4,800,000	3,550,000	3,000,000	1,800,000	1,200,000	21,550,000
支出 合計	4,813,739(66.9%)	1,712,940(35.7%)	85,129(2.4%)	125,210(4.2%)	1,455,330(80.9%)	843,288(70.3%)	9,035,636(41.9%)
返還額	2,386,261(33.1%)	3,087,060(64.3%)	3,464,871(97.6%)	2,874,790(95.8%)	344,670(19.1%)	356,712(29.7%)	12,514,364(58.1%)

※( )は、収入に対する割合。

※会派名:明政会(明政会議員団)、久留米たすき(久留米たすき議員団)、公明党(公明党議員団)、緑水会(緑水会議員団)、みらい久留米(みらい久留米議員団)、日本共産党(日本共産党久留米市議員団)

※公明党は、令和5年3月は5人分を交付。



今号の表紙  
株式会社ブリテストーン  
(左)製造部 田代 純二さん  
(右)製造部 田代 功大さん

株式会社ブリテストーンは、1931年に操業を開始した久留米発祥の企業です。久留米工場は、環境に配慮した工場を目指し、航空機やレーシング用のタイヤなどを幅広く生産しています。田代さんのように親子二代で勤めている方もいて、時代とともに技術が受け継がれています。

### 新 議会広報委員会からのメッセージ

6月に新たな議会体制となり、議会広報委員会も、新たなメンバーで市民の皆様へ議会の活動をお伝えしていきます。少しでも分かりやすい紙面づくりに取り組みますので、皆様からのご意見ご感想をお待ちしています。

議会広報委員会



### 9月定例会(予定)

月	火	水	木	金	土	日
8/28	29	30	31	9/1 本会議 (提案説明)	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15 常任委員会 (教育民生)	16	17
← 本会議(一般質問) →						
18	19 常任委員会 (経済)	20	21	22	23	24
25	26	27	28 本会議 (採決等)	29	30	10/1
2	3	4	5	6	7	8
← 決算委員会 →						
9	10	11	12	13	14	15
← 決算委員会 →						
16	17	18 本会議 (採決等)	19	20	21	22

※日程は都合により変更されることがあります。

市議会だよりを読んでのご意見、ご感想をお寄せください

発行: 久留米市議会 編集: 議会広報委員会 / 久留米市城南町15番地3  
TEL.0942(30)9305 / FAX.0942(30)9720 / E-mail gikai@city.kurume.lg.jp

「市議会だよりくめ」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。ご意見等はこちらからも投稿できます▶

